

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。						
本年度重点目標	I 学習指導の充実 II 進路指導の充実 III 心豊かでさわやかな生徒の育成 IV 広報・渉外活動の充実 V 教育施設・設備の活用				学校関係者評価		
重点目標	評価項目	具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標 【 】は数値的目標	平成 29 年度実施結果(成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	自己評価	コメント (回答数 65)		
I 学習指導の充実	授業改善への取り組み	<p>①生徒の学習意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る</p> <p>【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足)の比率95%】</p> <p>【授業満足度(生徒)と自己考査(教員)を年4回実施】</p> <p>②普通科と英数科、各クラス間、各教員間の指導の格差を改善し、指導の共通化を図る</p> <p>③定期テスト後に教科検討会を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う</p> <p>【年2回実施】</p> <p>④各教科、中堅以上の教員がテーマを設定した研究授業を行う</p>	<p>①○生徒の授業満足度調査、授業に対する教員自己考査とも年4回実施した。</p> <p>◇授業満足度調査の授業満足度(満足+どちらかといえば満足)の比率は目標値を上回っているが、教員別・項目別に見ると結果を活かしての授業改善でまだ不十分な点が見られる。</p> <p>○◇数学特任講師による若手教員への個別指導は効果的であった。他教科でもノウハウの共有を進めているが、教科によって意識・取り組みに差が見られる。</p> <p>○【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足)の比率 95.5 %】</p> <p>②◇「理解させるための根気強い指導」や英数科と普通科の指導格差、クラス間や教員間の指導の格差がまだまだ大きいため、改善を進めたい。</p> <p>◇クラス編成も含めて普通科の学力向上への取組が更に必要である。</p> <p>③◇教科会議を毎週行える状況(時間割)を整えたため、教科検討会の回数が増加したが、全学年の状況を把握して3年間見通しての指導計画を共有するところまでは至らず、学年、コース、担当者による情報交換にまだ留まっている。</p> <p>④◇未実施の教科もあった。「生徒授業アンケート」の結果を踏まえて、担当者を指名しての研究授業実施も考えたい。</p>	<p>A</p> <p>18.5 %</p> <p>B</p> <p>69.2 %</p> <p>C</p> <p>10.8 %</p> <p>D</p> <p>1.5 %</p>	<p>①教科検討会の時間がない。</p> <p>②普通科の学力向上を考えると、この先生は英数科しか持たない、この先生は総文、という教科内での授業の割り振りを見直していく必要があると思う。</p> <p>③教員間の指導格差があると感じられる。</p> <p>④もう少し他のクラスの担当教員と連絡を密にすべきだった。</p> <p>⑤大学入試が大きく変わることに対して本校の取り組みの方向性が定まっていらないように思える。</p> <p>⑥授業内容の見直しと改善を試みたが、クラスによって結果にバラツキがあった。クラスによって更に工夫が必要だと感じた。</p> <p>⑦授業改善のためにも、より多くの研修の機会を設定する必要がある(校内・校外)。</p> <p>⑧各教科ともALの研究授業を行う必要がある。</p> <p>⑨普通科と英数科、各クラス間の格差はまだ解消されていない。</p> <p>⑩特に普通科は英語などのレベル分け授業が必要。</p> <p>⑪テスト直しなどテスト後にやる事が多く、メリハリがない。</p> <p>⑫普通科の学習意欲を伸ばすための工夫が必要。</p> <p>⑬定期テスト後の教科会議はなかった(検証などは行われなかった)。</p> <p>⑭研究授業がほとんど実施されていないため、ベテランの先生や若手の先生の授業を多くの教員で観る機会がない。</p> <p>⑮普通科の指導については全教員が彼らを高める意志を持って取り組む必要を感じる。生徒に迎合しない意識が必要。</p> <p>⑯新テストに向けた準備も進めていきたい。定期テストを変えていく(4技能)必要がある。</p> <p>⑰普通科生徒の学力向上までには至らなかった。まずは授業を工夫させていく必要がある。</p> <p>⑱研究授業は実施しなかった。</p> <p>⑲教科毎に指導法を共有する時間がほしい。</p> <p>⑳英数科・普通科の学力格差は正にさらなる努力を要する。高大接続改革の中で、特に普通科の進学がより厳しくなることが予想される。意識を変えて指導にあたる必要がある。</p> <p>①教科会議を時間割の中に入れたことはとても有効的であった。この時間を使って、教科内の情報交換を行うことができた。</p> <p>②教科会議の時間はより有効に使えたと思う。</p> <p>③教科内での情報共有(クラスのこと、普通科のレベル)をすることができた。まだ、教員間での普通科と英数科の認識の違いの差はあるが、昨年よりだいぶ良くなっていると思う。</p> <p>④数学特任講師の先生には個別指導を通して基礎基本をたくさん教えていただいた。まだまだ課題や改善点はあるが、継続して自己研鑽を積んでいくつもりである。</p> <p>⑤それぞれの教科の先生方がとても工夫されている。今の生徒に対応した授業展開がなされていると思う。</p> <p>⑥教科会議を毎週設定したのは良いことと思う。前向きな意見交換が行われている。</p> <p>⑦毎回の授業では、内容を改善し、次の授業で活かすよう努めたが、生徒の学習意欲が高まったかは分からない。意欲的にさせる技量を身につけたい。学校としては改善すべき点を成果へつなげていく取り組みを行っていてよい。</p> <p>⑧研究授業もあまり行われていないが、各教員がとても頑張っていると考えられる。普通科の指導はやはりベテラン教員が力を発揮している。</p> <p>⑨他教科のことはよくわからないが、自身が所属する教科では指導内容や進度を合わせ、普通科・英数科の格差をなくすようにできた。今後は今行っている授業スタイルが果たして効果的であったか、3年間を見通した検証が必要。</p> <p>⑩授業満足度はかなり高い。</p> <p>⑪相対的に学力向上に苦勞している生徒が多いクラス、学習そのものに関心や意欲が低い生徒が多いクラスからの授業満足度が低い傾向が続いたため、グループ学習や教え合いなど、アクティブラーニング的なことを少々導入して試してみた。</p> <p>⑫年6回すべての考査の範囲と問題を現代文・古典ともに全クラス共通化した。</p>	<p>A</p> <p>0%</p> <p>B</p> <p>75.0%</p> <p>C</p> <p>0%</p> <p>D</p> <p>25%</p>	<p>①藤枝明誠に関わる全ての方が、いつでも意見を発信できる環境を提供してみたいか？</p> <p>②各フロアへの意見箱の設置</p> <p>③細かな検討課題もあると思うが、これからも引き続き授業が勝負という姿勢で取り組んでいただきたい。</p> <p>④英語の英検のように他の教科も到達目標(レベル分け)を具体的に示す(課題テスト等)ことで、各自の取り組むべき内容が具体的になるのでは。</p> <p>⑤大学入試が変わることについて具体的に生徒・保護者に知らせる必要がある。</p> <p>⑥普通科と英数科との格差はあると思う。普通科にも学習意欲を持つことができるように指導していただきたい。テスト対策のみならず、普段から勉強意欲を持つことができるように導いていただきたい。</p> <p>⑦それぞれの時期で何が大切かを生徒一人ひとりが知る必要があるのではないか。授業を受けさせられている意識のままでは伸び率が低いと思う。前回の評価委員会(2017.9.28)で中等部の取り組みとして「足踏み学習」を取り入れていると伺ったが、これは高等部においても導入可能か。</p> <p>⑧高大接続改革で挙げられている学力の3要素を育むことができるような環境にしていただきたい。主体性、協働性を身につけることができるであろうアクティブラーニングの取り組みも有効な手段だと思う。</p> <p>①毎回の授業を大切に、熱心に指導くださり、ありがたいと思う。</p> <p>②生徒の授業満足度も高く、集中して授業に打ち込んでいる様子が浮かんでくる。</p> <p>③これまでの充実した学習指導に加え、たゆまない改善の努力を感じる。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学力の定着や向上に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る 【9時まで学習参加率 60%】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る 【復習テスト年5回実施】</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う 【英検2級220名以上、準1級15名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う(論理エンジンの一層の充実・活用等) 【全学年論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力向上のための指導を策定する</p> <p>⑦大学入試共通テストに向けて論述問題や英語4技能に対応した問題を定期テストに導入する</p>	<p>①◇図書室における放課後プロジェクトの自主参加はやや減少傾向にあり、担当職員の声掛けによる参加が目立った。</p> <p>○職員室及び職員室前フロアで積極的に個別指導を受ける生徒が増加した。</p> <p>○「受験は団体戦」の指導の核である「9時まで学習」は年々減少傾向にあったが、本年度は参加率69%であり、昨年度を10ポイント以上上回った。</p> <p>②○各教科・各学年においてきめ細かな指導が実践された。各教科では同学年の各科・各コースの担当者間での連携が取れていた。各学年では「meisei diary」等を利用しながら学習習慣の確立を図った。</p> <p>◇主要教科において各学年を縦断しての指導方針が確立されておらず、学年と担当者の個性の強い指導となった。</p> <p>◇進路課からの復習テスト実施への呼びかけが年度初めにはあったが、各回にはなく徹底されなかった。</p> <p>③○英検2級以上合格者は目標値を上回り、大きな成果を上げた。またGTEC(コミュニケーション能力テスト)も実施した。これらの取り組みにより英語の学力が向上した。</p> <p>○【英検2級以上の合格者223名、準1級合格者16名は本校過去最高記録となった】</p> <p>④○論理エンジンによる指導を3学年全コースで実施し、国語力向上を図った。センター試験得点を下支えた。</p> <p>◇全般的には依然国語力の向上は課題であり、新テストの傾向も意識して引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑦◇新入試に向けて論述問題を国語の定期テストに入れるようにしたが、まだ新テストの傾向を踏まえたものになっていない。研究が必要である。</p>	<p>A 35.4%</p> <p>B 53.8%</p> <p>C 7.7%</p> <p>D 3.1%</p>	<p>①普通科の生徒にとって一つの基準である英検準2級のラインを2級にまで引き上げていきたい。1年次から意識させて学習に取り組みせれば合格者数は更に増加すると感じる。生徒の英語に対するモチベーションをもっと高めさせたい。部活生との英検取り組み指導が不足している。</p> <p>②国語力の向上も大きな課題である。論述問題を各教科で課していくことが必要。</p> <p>③論理エンジンは取り上げている文章の内容が古い。情報化社会やグローバル問題に全く対応できていない。そして高額すぎる。</p> <p>④論理エンジンが実際に問題文読解に生きてくるというところまでに至っていない。更なる工夫の必要性あり。</p> <p>⑤子どもの数が減少することもあり、様々な生徒が入学してくる。このような中で「伸ばす明誠」として中・下位の学力の生徒の実力を向上させていく指導を行い、成果を上げられるようにしていきたい。</p> <p>⑥導入された明誠ダイアリーも論理エンジンも即結果に出るものではない。本校の生徒に不足している点を検討して導入したものであることを自覚して継続させていく必要がある。</p> <p>⑦普通科の生徒には漢字を「読めない」「書けない」、きちんとした「話し方」ができない生徒も多い。何とか大学に入れているが、高3の受験指導が大変になってきている。高1→高2→高3のプロセスを何とか確立して大学に進学させたい。</p> <p>⑧国語力の向上に関して今後も引き続き研究が必要であるが、国語力の何が不足しているのか検証が必要。生徒の基礎的な読解力を測る「Reading Skill Test」を導入するののも一つの方法ではないか。</p> <p>⑨普通科の生徒には7限は授業ではなく、模試対策や英検対策を実施した方が良いと思う。</p> <p>⑩本年度より導入した明誠ダイアリーによる計画的な学習の実践や確立がどの程度成果が表れているのか、目に見える形でわかるとよい。</p> <p>⑪明誠ダイアリーの活用がクラスにより様々であるため、最低限の形は決めた方がよい(週1回の提出など)。</p> <p>⑫できる生徒は伸ばしているが意識が学習に向いていない生徒への対応にまだ不十分な点が残る。</p> <p>⑬論理エンジンは優れた教材ではあるが、前半が易しすぎるという短所があり、地頭のよい生徒は準備しなくても高得点を取ってしまう。多くても週1時間くらいにとどめ、定期テストには教科書から出題した方が生徒のモチベーションの点で有効かと思った。また、高価なため最終巻まで購入しきれない。</p> <p>⑭普通科の学習習慣確立のためにも、特に1年の4・5月、9月等は予習・復習・課題の不十分な生徒に対して学年・教科・部活で連携し、放課後の補充が必要ではないか。</p> <p>⑮部活に所属していない生徒の放課後学習の雰囲気づくりも大切。できれば強制にしたい。</p> <p>⑯普通科の中でもレベルの高いクラスを担当していたが、もっと発展問題に取り組みさせるべきだった。</p> <p>⑰復習テストを授業時間数で取り組むことができないことがあった。</p> <p>⑱自習できない生徒が増えてきている。各教科で今まで以上の細かい指導が必要である。</p> <p>①入学時の学力偏差値よりも伸長している。</p> <p>②国語科として小論文対策や難関大学・国公立大学の記述対策には協力することができた。合格者数を増やすためには徹底した個別指導に勝るものはないと思う。</p> <p>③英検2級合格者が多く出たのには驚いている。英語科の取り組みに感謝している。英検2級の合格率が非常に高く、今後の受験の変化にも対応できている。英検対策は積極的に行われており、英語力の向上について成果が十分に出ている。</p> <p>④意識して記述問題に取り組みさせた。</p> <p>⑤先生方がとても苦勞して、情熱をもって頑張っている。</p> <p>⑥教科の学力の定着に関してはスタディーノートを提出させ、勉強させることを意識してきた。学校としては各教科でさらに共通の取り組みを行ってほしいと思う。</p> <p>⑦細かな指導のたまものだと思う。生徒が先生方を頼りすぎている点は気になるが。</p> <p>⑧3年生の放課後の学習・受験指導では熱心に取り組む生徒が複数いたが、意識の高い生徒をもっと増やすべく、進路に向けた指導の充実を図りたい。</p> <p>⑨本年度の「9時まで学習」参加率は前年を大きく上回るものであった。この積極性が二次対策講座参加率向上にもつながったと思う。</p> <p>⑩教科内で「普通科ですべきこと」「英数科ですべきこと」を決め、共有しており、方針が定まってきた。</p> <p>⑪部活動の時間との関係で十分に行うことができなかったが、寮生の英検対策を試みることができた。</p> <p>⑫高1年部では教科だけでなく、学年の意識として適切な時期に適切な課題を提供することができた。</p> <p>⑬1年生の集団宿泊訓練直後から英語2回、国語1回の朝テストを1年間継続して行うことができた。</p> <p>⑭各部活動におけるテスト前の勉強会など、とてもよい取り組みだと思う。朝の部活清掃活動はテストの時はやるべきではないのでは。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 87.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>①英数科と普通科の意識の差を縮めることができるといいと思う。</p> <p>②9時まで学習での学習内容につて効率的に学力向上につながるような方策も必要ではないか。</p> <p>③英検準2級が受ければそれでよいと考えている生徒もいるので、もっと上をねらうように(次の級を受けるように)指導して、向上心を持たせていただきたい。</p> <p>④普通科の中でも先生によって違いがある。同じ方向でお願いしたい。</p> <p>⑤明誠ダイアリーは地区懇で知ったが、活用している人ばかりではないのは残念でした。</p> <p>⑥9時まで学習が定着し、生徒によって様々な柔軟な対応をされていると思う。9時まで学習は近隣にも周知されていて、「塾いらずの学校」とも呼ばれている。引き続き中身の濃い取り組みとなるよう進化させていただきたい。</p> <p>⑦中等部の時に定期テストの試験結果が返却されたときに反省と勿体ない点を生徒自身に書かせることをさせてもらっていた。振り返りをする習慣を身につけ、次に活かす力をつけてもらうことができたと思う。この習慣を身につけ、継続していくことは大切だと思う。</p> <p>①職員室や職員室前フロアで個別指導、また、9時まで学習の参加生徒が増えていることは、生徒のやる気を感じる。また、それを引き出す先生方の指導に感謝している。さらにこれらのことが英検の合格者増という成果につながっていると思う。</p> <p>②先生方のたゆまぬ指導の努力を感じます。</p> <p>③英検2級223名合格は目標以上の成果であり、英語のレベルの底上げに効果大であると感じる。</p> <p>④希望進路に合わせて様々な取り組みをしていただいている。</p> <p>⑤英検の取得率の高さは学校のよいアピールとなっていると思う。きめ細かな検定対策や指導にも感謝している。</p> <p>⑥本年度卒業した保護者より「9時まで学習のおかげで無事大学合格することができ、有り難かった」とのお話を伺った。厳しい環境に身を置くことによって学習を継続することができたとのこと。</p>
--	--	---	---	--	--	---

<p>II 進路指導の充実</p>	<p>進路希望の達成に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る ②教員の教科・進路指導の力量向上を図る ③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う 【年2回実施】 ④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る 【現役合格 95%】 ⑤図書室における図書貸し出し冊数・人数の増加を図る方策を練る</p>	<p>①○1 学年は文理選択のため「夢ナビシート」・「学部・学科レポート」による学問分野の研究、外部講師による進路講演、2 学年は大学職員による学部学科説明会の実施、オープンキャンパス参加奨励、進路課主催の高3・0 学期ガイダンスなどで進路意識の高揚を図った。 ○国際教養コースでは1 年生が地域創生のプログラム学習、1・2 年生への高校部長による放課後特別授業等で本校独自のグローバルな視点の養成がなされた。外部講師による講話・関係大学訪問等で国際的な視野の拡大や進路の明確化がなされた。 ②○教科・進路指導力の向上に向けて各教員が個々に研鑽に努めた。 ◇各教科で経験があり指導力のある教員の指導方法・ノウハウの共有化がなされなかった。 ③◇外部模試後の分析・検討などはその学年の担当者間では行われても、教科全体での検証は十分に行われなかった。週一度の教科会議の時間を有効利用したい。 ④◇大学現役合格率は96%であった。</p>	<p>A 37.0% B 56.9% C 4.6% D 1.5%</p>	<p>①キャリア教育に更なる力を注ぎたい。生徒は身近なことをベースにしてしか将来の目標設定ができない。生徒の世界観を広げるための指導が必要である。 ②図書室の図書利用をもっと促したい。 ③外部模試結果が各教科担当に降りてくるようになっていない。担当している集団の平均得点や偏差値、個人の数値も学年・担当だけでなく、教科担当にすぐに伝達できるようになってほしい。 ④教科における模試の検討が必要。模試結果の扱い方を検討していく必要がある。 ⑤新しい入試制度に向けた研究への意志は見られるが、まだ実践で生かされるまでには至っていない。 ⑥ゆっくり進路について考える場面が少ない。自分が何を得意とし、どんな仕事に就きたいのか、表現できる生徒が少なくなってきている。 ⑦外部模試については各学年の教科担当間での検証・情報共有はなされたが、教科全体には及んでいないため、継続した指導法の構築には至っていない。 ⑧1 年生の早い時期から大学に向けての指導をもっと行った方がいい。 ⑨学年の意図・目的をもった総合学習の時間が取れないため、隙間に学年行事として埋め込まなければならない。 ⑩1 年生の文理分けで混乱があった。 ①かなり細かくできたと自負している。個人的にも学年でもよくできたと思う。 ②デジタルサービスにクラス全員で情報室を使って取り組んだ。とても意味がある。 ③個別面談のおり明誠ダイアリーを大いに活用できた。 ④進路について相談にのり、アドバイスをすることができた。受験がすべて終わったクラスの授業では大学に向けての内容を取り扱った。 ⑤親身な先生が多いと思う。一人ひとりに対して細かな指導を行うことができた。 ⑥担任の進路指導は多くの時間を費やして、かなり手間をかけているが、担任任せになってしまい、生徒が自分で受験調べをしていないことが多くなってきている。これでは大学入学後や将来的にうまくいかなくなるのではないのか。 ⑦数学科では授業参観とその反省を通して研修を行うことができた。 ⑧6 月に本校体育館で実施した 22 大学参加の大学説明会(3 年生向け)、学部・学科説明会(18 学部、2 年生向け)は生徒の意識高揚につながった。 ⑨進路課長による説明会、3 年生の担任による進路講話は 2 年生の進路に対する意識付けをさせるとてもよい機会だった。 ⑩1 年次から大学進学に対する意欲が湧くような取り組みが多くあった。</p>	<p>A 12.5% B 75.0% C 0% D 12.5%</p>	<p>①個別の大学について、パンフレット等から研究内容や魅力などを生徒に説明する機会を増やしてもよいと思う。 ②最近では流動的で情報が乱れており、混乱が生じることも多いと思う。学校に関わる様々な人のつながりをもっと強くすることが変革に対応する有効な手段だと思う。 ③中等部時代に職業について調べるといった課題が夏休みに出されました。このような取り組みで、その職業に就くためにはどのような勉強や取り組みが必要で、どのくらいの勉強量が必要なのかを調べることができると思う。これにより、必然的に進学志望大学を決め、学習に取り組むのではないかと。やる気にさせるアプローチ(ここでは勉強)をかけることも必要かと思う。 ④2017 年度大学視察に参加された保護者に大学オープンキャンパスへ足を運ぶことの大切さを感じていただいた。早い段階でオープンキャンパスに行くことの必要性を肌で感じたようだ。学校・生徒・保護者の情報共有および密なるつながりは進路希望達成のために大切なことだと思う。 ①生徒一人ひとりに大変親身に細やかな指導が実施され、進路決定につながっていると思う。 ②進路についての個別指導の大切さを学校側が良く理解されていると思う。特に、現役合格へのこだわりが良いと思う。 ④進路について先生方の努力がうかがえる。生徒に寄り添っていただいているのがわかる。 ⑤将来について分からない子にも丁寧に知らせていただいた。 ⑥早い段階から進路について教えていただき、オープンキャンパスへ行き、大学をすることができている生徒が多かったと思う。自分で知ることによって勉強意欲が湧き、進路希望の確定ができたと思う。</p>
	<p>難関大学等の合格に向けた指導</p>	<p>①難関大学を含めた国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるよう学習・進路指導を推進する。大学合格目標を以下に設定する 【東大、京大、国公立大医学部計 5 名以上、旧帝大計 10 名以上、静大・静岡県大・静岡文芸大計 30 以上、国公立大学計 70 名以上、早大・慶大・上智大計 10 名以上、MARCH・東京理科・関関同立計 70 名以上合格】 ②東大・京大等の入試問題研究を行い、合格へ向けての効果的な指導を研究する。また、大学入試対策セミナーに積極的に参加し、その研修内容を職員間で共有する ③新大学入試制度に向けての研究と対策を行う ④3 年生対象に入試実力養成のための放課後特別講座を実施する ⑤高 3 センター試験後の二次対策講座の実施方法を改善し、受験計画完投の指導法を確立する</p>	<p>①○各学年とも模試を積極的に活用し、学力の養成を図った。また教科によっては事前に過去問等を配り意識高揚を図っていた。 ○模試成績は各教科ともおおむね良好であり、第 1 回目～第 3 回目と回を重ねるにつれ上位層の厚みがます結果となった。 ○担任の熱心な指導により A・O・推薦入試による合格者数は 19 名だった(筑波・横浜市立、静岡など)。 ◇【現役合格: 東大 1 名、旧帝大 3 名、静大・静岡県大 20 名、国公立大学計 50 名合格。早大 2 名、MARCH・東京理科・関関同立合計 59 名合格】 ○二次対策講座の参加率が 69%と昨年度より高く、学年の指導力が発揮された。 ◇難関私大に挑戦する生徒がやや少なかった。進路課で各生徒の受験計画を把握すべきであった。 ②③このような研修には積極的に取り組んでいきたい。講師を呼び、校内で研修を行うことも検討したい。 ④○放課後に入試対策として個別指導を行った。英語、数学の個別指導は効果があった。</p>	<p>A 35.4% B 50.8% C 4.6% D 9.2%</p>	<p>①新テストに向けて対策を十分に行いたい。 ②普通科の生徒はどこをみぞか？ ③センター200 点教科の先行学習は当然であるが、理科・社会を後回しにする傾向がある。2 年 11 月の模試から 5 教科受験を実施すべき。 ④結果が全てであることを考えれば、不十分としか言えない。目標にはとどかなかった。 ⑤指定校を明確に出すべき。今の方針では不公平。 ⑥多くの先生が受験指導を経験すべきである。 ⑦旧帝大に挑戦できる学力レベルの層が薄かった。教科間でシラバスの検討が必要。 ⑧英数科にだけ難関大学合格を頼るのではなく、普通科から 2 ケタ以上の国公立合格者を出す必要がある。見込みの高い生徒に対しての国公立指導を行い、安易に指定校推薦に流さないようにする指導も必要である。 ①分母が少ないからか、良く育て、よい成果を生んでいると思う。 ②学年進路課で連携して進路に向けた活動をすることができた。また、多様な入試方法、新テストについて研修で学ぶことができた。 ③センター7 割～6 割層が薄かったため、国公立大学数は伸び悩んだが、MARCH・関関同立については前年度 37 から 59 と大幅に合格者数を増やし、担任の先生方の受験計画指導が実った結果となった。 ④対策セミナーに参加させていただき、近年のトレンド、講義の仕方を含めて得られるものがたくさんあった。 ⑤進路意識が高まってきていることを感じる。ただ、実力の伴わない生徒が増えている。 ⑥学力でもスポーツでも生徒に関わり、生徒のために何かできればと思っている。 ⑦それぞれの先生方が個別に対応していたと思う。 ⑧「9 時まで学習」、二次対策講座への参加率上昇や生徒の上位大学を目標として頑張る姿など、担任の先生方や各教科担当の指導力が発揮された。 ⑨国語科では個別指導、大学別の対策を徹底した。一層充実させるべきである。 ⑩駿台セミナーに 2 回参加することができた。</p>	<p>A 25.0% B 62.5% C 0% D 12.5%</p>	<p>①今年度の合格実績から、どの科目が相対的に目標レベルから乖離しているかを明確にして、次年度以降の指導に生かしてほしい。 ②難関大学合格者を学校に呼んで、大学の様子や研究内容を語ってもら(具体的な目標を明確にさせる)。 ③普通科は難関大学への意識が薄いと感ずる。普通科は指定校推薦というのがあるからという安易な気持ちがあるのではないかと。 ④高い志はあるものの、実際にどのような取り組みをしていったらいいのかかわからずにいるケースもあると思う(特に長子の場合)。くり返し個人面談等をしていただいて、早い段階で不明な点をなくし、目標達成に向けて取り組んでいける家庭が増えていけば進路実績にもつながるのではないかと。 ⑤積極的な外部模試の活用も必要なケースもあると思う。また、出題傾向等の対策も早い段階から練らなければならない可能性も高いと思う。これらのことも希望者本人が積極的に取り組む姿勢が一番大切だと思うが、目標達成のためにどうあるべきかについて指導していただきたいと思う。 ①日頃の先生方の努力によって、すばらしい成果が出ていると思う。 ②生徒に本気のやる気を持たせる環境が作られていると思う。 ③教員・生徒ともに難関大学合格に対して意識が高く、それに合わせた指導がなされていると思う。 ④英数科では挑戦する生徒が多かったと思う。</p>

<p>III 心豊かでさわやかな生徒の育成</p>	<p>社会性や道徳心の育成</p>	<p>①礼節を重視し、様々な場面で、マナーや社会的規範意識を育成する。正門一礼や予鈴黙想の励行なども継続して指導する</p> <p>②校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導の徹底を図る</p> <p>③交通マナーの指導を強化し、地域住民の苦情をなくすとともに交通事故防止を図る</p> <p>【交通事故 10 件以内】</p> <p>④徳育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する</p> <p>⑤生徒の様子を観察、生徒面談、いじめ調査等を活用して、いじめ行為防止に取り組む</p> <p>⑥インターネットなど SNS についての啓蒙を行い、問題発生を防止する</p> <p>【いじめ調査年間中学 3 回、高校 2 回実施】</p> <p>⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、人間関係構築、カウンセリング、コーチング等）の研修を実施する</p>	<p>①○礼節指導を継続して指導した。挨拶はかなり良好である。</p> <p>◇登校時の鞆の違反(無許可のバッグ)や商店での振る舞いなど、校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。</p> <p>②○サッカー部、陸上部、バレー部、野球部等の自主的な清掃活動(早朝等)により、校地や学校周辺の環境美化ができた。</p> <p>◇HR で清掃活動指導を行ったが、指導しきれない部分もあった。</p> <p>③○交通安全委員による街頭交通指導は交通安全推進に貢献した。</p> <p>◇交通マナーについて HR 等で繰り返し指導したが、地域住民から交通マナーに対する苦情が時折り寄せられた。</p> <p>◇【交通事故 19 件】軽微な事故がほとんどであるが、大事故にならないように更に指導が必要である。交通事故は相手の過失が大きい場合も多く、相手(車等)の動きを予測するように指導をしていきたい。</p> <p>◇自転車施錠点検を 4 回実施した。施錠率率は向上したが、定着しない生徒もあり継続指導が必要である。</p> <p>④⑤○いじめ調査は 2 回(7 月、11 月)実施したが、実施時期を早めたことにより早期対応ができた。いじめに関する調査、イエローカードの活用はいじめの防止に役立った。</p> <p>⑥◇SNS によるトラブルは特になし。</p> <p>○【いじめ調査年 2 回実施】</p>	<p>A 20.0%</p> <p>B 66.2%</p> <p>C 13.8%</p> <p>D 0%</p>	<p>①自らルールを守ることができる生徒を育てたい。</p> <p>②集会時の規律指導など徹底すべきである。</p> <p>③各部活動の自主的な清掃活動に頼りすぎている。</p> <p>④夜間、部活終了後の帰宅時のクレームが多いように感じた。改善の余地がある。</p> <p>⑤自転車マナーに関する苦情が多かった。交通マナーの徹底が未だできていないように思う。朝夕の自転車マナーが悪い。特に、並進する者が多い。</p> <p>⑥生徒の人間力向上のために部活・保護者・担任の連携を取った指導が必要である。</p> <p>⑦あくまでも印象であるが、一部の部活の生徒を除くと自ら率先してあいさつできる生徒が少なくなってきたと感じる。</p> <p>⑧部活生が清掃したり、学校の仕事の手伝いをやっているが、部活中に頑張っているだけの生徒が多く、HR での清掃で手を抜いたり、身の回りの片付けや公共物への意識について改善・指導が必要である。</p> <p>⑨校門での一礼が全体的に徹底できていない。</p> <p>⑩ゴミの処理があまりよくない。菓子等の持ち込みが当たり前になっており、生徒に分別の意識が足りない。授業間の休み時間の食事(パン等)は現状のままでよいのか疑問。</p> <p>⑪交通マナーについては全体とは別に生徒一人ひとり(事故等を起こした生徒など)に対する指導について考える必要がある。</p> <p>⑫できればロッカーや自転車、服装について「整えて終わり、整った状態から始まる」ことに全体でのこだわりがほしい。教職員の意識向上!</p> <p>⑬せっかく生徒会が中心になってマフラーを制定したのにウオーマーネックを着用して登下校している生徒が非常に多いのは残念。</p> <p>⑭正門一礼や予鈴黙想は個人差・クラス差が著しいと思う。</p> <p>⑮交通マナーについてはクラス内で注意を促すだけで、それ以上の効果的なことはできなかった。</p> <p>⑯制服の Y シャツの裏地のほつれや袖口の汚れ、ズボンの薄汚れが目立った。</p> <p>⑰ポケットに手を入れたままのあいさつが目立つ。</p> <p>⑱登下校時の服装の乱れが目立った。</p> <p>⑲交通マナーについてはまだまだ指導の必要がある。特に下校時などに並進や歩行者への迷惑運転をしないように厳しく注意していく必要がある。</p> <p>①集団宿泊訓練後に学年の教員だけでなく、サッカー部や野球部の先生方にもお願いし、大きな声で校歌を歌うように指導していただいた。その結果、集会や始業式・終業式でも大きな声が出るようになった。</p> <p>②校内美化では運動部の生徒たちの活躍が光っている。</p> <p>③コーチングやカウンセリングの研修は大変得るところが多かった。生徒指導に生かせる部分があった。</p> <p>④明誠ダイアリーを導入により生徒の考えていることが以前よりも把握しやすくなった。</p> <p>⑤礼節は定着している。</p> <p>⑥いじめ対策もしっかりできている。</p> <p>⑦グラウンドや部室だけでなく、学校内外を清掃することで地域の方との関わりが生まれ、学校全体が良くなっている。</p> <p>⑧全体的に良好である。指導の効果が出ている。</p> <p>⑨教室内は常に整然とさせ、学習にふさわしい環境を維持できた。</p>	<p>A 25.0%</p> <p>B 62.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>①本年度、県内公立高校男子生徒の自殺原因は女子生徒によるいじめだったと関係者から聞いた。このような展開にならないような教育を行ってほしい。</p> <p>②特に自転車による交通マナーやゴミの処理などは一人ひとりがしっかり意識することで改善できることが多いので、くり返しの指導をお願いしたい。</p> <p>③交通指導については指導が難しい点もあるが、一層の努力をお願いしたい。</p> <p>④自転車ルール・マナーの徹底をお願いしたい。</p> <p>⑤自転車での通学生徒を見かけることがあるが、「並進」そして「一旦停止無視」(標識で止まらない)。非常に危険である。学校はもちろん家庭でも注意喚起が必要。</p> <p>①特に公立高校での学校教育で後回しにされがちだと思われる道徳教育に正面から取り組まれている。</p> <p>②生徒の元気な挨拶は訪れる時気持ちよく、うれしく思う。ちゃんと立ち止まり、お辞儀する姿はさすがらしく、礼儀正しくてとてもうれしいこと。今後も続けていただきたい。</p> <p>③運動部の清掃活動は社会道徳を身につけることができ、今後社会で役立つのではないかな。</p> <p>④青藍祭、体育大会等の行事に向かってクラスやグループ、部活動で団結して取り組むことを通して一体感を感じることができると思う。引き続きこれらの行事で協働することを学んでほしいと思う。</p> <p>⑤定評のある挨拶は、是非続けてほしいと思う。</p> <p>⑥数年前に学校行事を体育館にて参観させていただいたとき、生徒たちが落ち着いて行事に参加している印象を受けた。引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>⑦短大や大学で教鞭を執る方(先生)より学生の指導に苦慮していると伺った。素直さが伸び率にも影響するとのこと。個人個人の問題であるとは思いますが、引き続き礼節や道徳心の育成のための指導をお願いしたい。</p>
-------------------------------	-------------------	--	---	---	---	---	--

<p style="text-align: center;">基本的な生活習慣の確立</p>	<p>①欠席や遅刻等の減少を図る。インフルエンザについては感染防止対策を徹底する</p> <p>②正しい身だしなみの指導を徹底する 【学年全体風紀指導年6回実施】</p> <p>③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を徹底する</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する</p> <p>⑤校則遵守の徹底を図る</p>	<p>①○各教室にアルボナース等消毒液を設置したことがインフルエンザ等の感染防止につながった。 ◇遅刻が減少するには至らなかった（特に冬季）。</p> <p>②○学年校風指導を学年団の意思統一のもとで7回実施した。服装面で大きな乱れもなく、スカート丈についても良好であった。 ○【学年全体校風指導年7回実施】</p> <p>③○基本的な生活態度はある程度確立されていた。 ○乙女塾の実施等、女子指導は充実してきた。 ◇さらに職員の指導の共通性を図りたい。</p> <p>④○生徒は校則をおおむね遵守していた。</p>	<p>A 35.4%</p> <p>B 55.4%</p> <p>C 9.2%</p> <p>D 0%</p>	<p>①女子の髪型のルールが学年やクラスによって統一されていない。耳より上で結んでいたり、ハーフアップをしていたりする生徒がいた。</p> <p>②校風検査について学年による差が大きく、再考が必要である。また、校風検査後の指導がやや甘いと思う。</p> <p>③校風（特に髪型のツーブロック）が徹底されなかった。生徒への意識付けがもっと必要だと思う。頭髪など、まだ甘い点が見られる。</p> <p>④今年のインフルエンザは常時10名程度の欠席が2ヶ月間続いた。感染予防の徹底を図りたい。体調の悪い生徒がいたら早めに帰宅させた方がいい。寒稽古によるインフルエンザの流行に対して対策の検討が必要。</p> <p>⑤2月上旬まではきわめて欠席・遅刻の少ないクラスだったが、インフルエンザや風邪が流行する時期から欠席が増加。効果的な予防や対策ができていなかった。</p> <p>⑥学年末が近づくにつれて遅刻が増加する傾向があった。また、本年度ほど欠課1/5越えの生徒が多かったのも珍しいのでは。</p> <p>⑦清掃時のジャージ着用が徹底できていない。</p> <p>⑧「ある程度確立」に満足せず、私立としてさらに向上を図らねばならない。</p> <p>⑨冬季の登下校時の服装にも注意を払いたい。</p> <p>⑩特に3年生の進路決定後の後期に遅刻が多くなる。1年生も後期に入って尚「8:00 指導遅刻を知らなかった」などと悠々と登校するものもいた。</p> <p>⑪欠席・遅刻が多すぎた。保護者と連携したが改善されなかった。</p> <p>⑫今年度は年間を通じて遅刻者が多かった。各学年毎に指導を行っていただいたが、大きな改善は観られなかった。特に高3生は部活引退や大学合格した生徒の遅刻はより厳しい指導が必要である。</p> <p>①他校に比べしっかりしていると思う。</p> <p>②インフルエンザについては厚生委員が中心になり監理が行き届いていたと思う。</p> <p>③5年前・10年前に比べて校風指導がやりやすくなった。（反抗が観られなくなった）</p> <p>④服装や時間を守る等の指導の成果がでてきている。生徒の意識も良くなっている。</p> <p>⑤校風検査とその事後指導はしっかりとされたと思う。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 62.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>①身だしなみや服装はややはり大事だと思う。一人ひとりが明誠の看板だという気持ちを持ってほしい。</p> <p>②家庭教育も含め、保護者との協力で真に豊かな高校生活を送ってほしい。</p> <p>③きちんとした生活指導が普通となるよう、継続的な指導をお願いしたい。</p> <p>④校風検査では先生方が統一した基準でお願いしたい。教員の共通認識を再確認したらどうか。A先生は何も言わないが、B先生には注意されたということはないか。</p> <p>⑤インフルエンザは罹患しやすい感染症である。手洗い、マスク着用等、感染拡大防止対策等工夫していただけたらと思う。特に、公共交通機関を利用して通学している生徒においては通学時の対策も必要なのかもしれない。突然の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの症状が出たら無理をせず安静にし、快復に努めるようにしていただきたい。</p> <p>①正しい身だしなみの子が多い。校風検査が何回かあるので生徒自身で気をつけていると思う。継続していただきたい。</p>
<p style="text-align: center;">部活動の充実</p>	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う 【部活動加入率80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす 【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】</p>	<p>①○多くの生徒が部活動に加入している。 ○【部活動加入率約80%】</p> <p>○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。</p> <p>○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。</p> <p>○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりと取組が出来るようになってきた。 ◇部室等の施設の徹底が不十分であった。</p> <p>②○野球部甲子園出、陸上部、棋道部、柔道部、射撃同好会、チアリーディング同好会が全国大会に出場した。バスケットボール部、テニス部が東海大会に出場した。図書研究会が高校生直木賞に参加。吹奏楽部等も県大会で活躍した。ほとんどの部が県大会に進出した。</p> <p>○【県大会出場～ほとんどの部、全国大会出場～6部】</p>	<p>A 52.3%</p> <p>B 46.2%</p> <p>C 0%</p> <p>D 1.5%</p>	<p>①部活の指導を学校生活にもつなげていきたい。</p> <p>②部活をやっていない生徒の人間形成について考えたい。</p> <p>③学ご苦労をおかけすることになるが、学習習慣の確立のためにも寮監の先生方による寮における「学習タイム」の設定をしたらどうか。</p> <p>④部・同好会による差は残る。</p> <p>⑤各部活、全国大会出場を達成できるように努力していきたい。</p> <p>⑥部活動に所属している英数科の生徒をもっと早く部活に行かせてあげてほしい。英数科であっても文武両道を目ざして頑張っている生徒がいる。大切にしてほしい。</p> <p>⑦加入はしても、活動回数が少ない部やほとんど参加していない、いわゆる「幽霊部員」も多くいると思う。</p> <p>⑧英数科で中途退部者が目立った。</p> <p>⑨指導者の人数や環境など、部活間の格差が大きい。また、部活動の種類（特に女子）が少ないことが学校の魅力減となっている気がする。</p> <p>①女子が活躍できる部活・同好会が増えたと思う。</p> <p>②とても良い成果を上げている。</p> <p>③学年と部活動のコミュニケーションを大事にしなが学年の意図を理解してもらい部活動から側面指導をってもらう形を採用した。</p> <p>④運動部・文化部ともに活発であり、学校の雰囲気も良くなっている。</p> <p>⑤夏季講座は部活所属生徒については顧問の指示とし、参加できない場合は顧問による課題や明誠ダイアリーの確認をお願いした。</p> <p>⑥部活動の熱心さ、集中力をほぼ全生徒から感じる。大会での活躍が他の生徒の気持ちや士気を高めることに繋がったと思う。</p> <p>⑦各部が高い目標を掲げて活動している。意識の高い生徒が多い。</p> <p>⑧野球・チアなど多くの部活が全国へ行き、学校の誇りである。</p> <p>⑨様々な部活が全国の舞台を目ざし、日々努力している。携わることができて嬉しく思う。</p> <p>⑩野球部の活躍は全ての生徒に大いなる希望を与えてくれた。高校1年生の野球部員の顔つき、授業態度、学習への意欲も少しずつ変わってきた。</p>	<p>A 75.0%</p> <p>B 25.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>①大学受験のための学習と部活動との両立が大変難しい問題だと思う。</p> <p>②部活動の指導について、公立では専門の担当者をおく試みがなされている。私立でも対応方針について明確化が求められると思う。</p> <p>③部活動でもテスト対策を実施し、テスト勉強をさせてくださる部活が多く、文武両道を実践していただき、ありがたい。継続していただきたい。</p> <p>④部活動に参加するということは社会人になってからの対人関係のためにも大切なことだと思う。ただ、生徒によっては自分の希望する進路のために多くの時間を勉強に費やさなければならぬ状況もある。そういう生徒には柔軟な対応をしてくださると限られた時間の中でより充実した部活動とすることができ、結果的には良い状況を生み出すことにつながるのではないかとと思う。</p> <p>①野球部の甲子園出場という成果が学校に希望や活力を与えてくれたと思う。</p> <p>②部活動の充実が学校生活や進路結果にいい影響を与えていると思う。</p> <p>③女子が活躍できる部活動が増えたことはよかったと思う。</p> <p>④部活動の活躍はすばらしい。成果を上げている。</p> <p>⑤各部とも活発に活動しており、特に野球部の甲子園出場で全国に明誠の名を広めた。すばらしい。これからも文武両道で頑張してほしい。</p>

<p>IV 広報・渉外活動 の充実</p>	<p>効果的な広報活動による学校理解の促進</p>	<p>①広報誌・広報紙の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める ②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行い、併せてホームページのリニューアルを行う 【月当たり訪問者(アクセス数)30,000以上、直帰率40%未満】 ③より本校理解が深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌・広報紙等の見直しを行う ④地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る</p>	<p>①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。 ○日刊スポーツ社に委託して「学校紹介新聞」を発行し、小中学生の募集活動に活用した。 ○野球部の甲子園出場、陸上競技部のインターハイ・国体出場等が大きくマスコミに取り上げられ周知が進んだ。 ○保護者会地区会へ出された質問や要望への回答を文書で配布した。 ②○HPの訪問者数が大幅に増えた。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行った。 ○◇HPのリニューアルを実施した。今後内容をより充実させるように工夫していく。 ○◇【月当たり平均の訪問者33,681人、直帰率46%】訪問者数は増加したが、直帰率も増えた。 ③○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A 55.4% B 36.9% C 3.1% D 4.6%</p>	<p>①HP等での部活報告が少ないように感じる。更新頻度を上げ、さらに充実させたい。 ②「進路だより」の本年度の第2号の発行が前年に引き続き遅れてしまった。 ③明誠に対する関心が高まっているだけに、本校にたくさんある素晴らしいことをもっと発信できたらと思う。 ①リニューアルしてHPがとても充実し、見やすくなり、学校の様子がわかりやすくなった。とても良い。担当を中心に本当に良くやってくれている。情報の収集と発信をしやすい環境が整ってきたと思う。 ②学校訪問に行くと、いずれの先生方からも甲子園出場の話題に触れられ、部活の実績による広報の影響の大きさを感じた。 ③明誠ニュース等は保護者に対する情報提供に活用でき、進路だよりは生徒の進学に対する意識付けに活用できたと思う。 ④甲子園出場はすばらしく、貴重な体験をさせていただいた。 ⑤野球部による広報効果が非常に大きく、様々な方面への周知につながった。 ⑥広報的な活動もそうだが、部活などで学校を知ってもらえることもできていて、良いと思う。 ⑦自治会役員を文化祭で案内したが、とても感心していただけた。本校生徒の日頃の活動と卒業式での姿勢を見ていただくことで、地域の方々に本校の教育の良さをアピールできたと思う。 ⑧渉外担当の一人として2つの中学校を複数回訪問した。宣伝もしっかりできたと思う。受験者の維持・増加にこれからも努めていきたい。 ⑨広報・渉外の先生方の努力には頭が下がる。</p>	<p>A 75.0% B 25.0% C 0% D 0%</p>	<p>①広報誌などは発行されたことを明誠ネットで保護者に発信してもよい。親に配布物をタイムリーに渡さない生徒が多いと思う。 ②保護者向けの通信が発行されても、生徒によっては保護者に渡さないのは残念。卒業された保護者が本校のよいところを知らせている。 ①大変充実した広報・渉外活動で、先生方の努力に感謝したい。 ②野球部の活躍も含め藤枝明誠の名をよく耳にする一年でした。甲子園出場により、本校のイメージが良く、また、周知されてきている。 ③募集につながる広報活動ができていると思う。 ④生徒の活躍により発信する内容も濃くなり、関心も高まることを期待する。 ⑤最近の進学実績および部活動の活躍で関心を持ってくれる人が増えたのを感じる。 ⑥学習塾への訪問は有効手段だと思う。 ⑦学習塾に通わせる必要がなく、学校で面倒をみてくれるところに魅力を感じ、入学を決めた保護者もいる。 ⑧ホームページがリニューアルされ、大変見やすくなった。</p>
	<p>積極的な渉外活動の実践</p>	<p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する ②小笠・榛原・焼津・島田・藤枝の各地域の訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集活動を展開する ③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る ④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努める ⑤「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る 【学則定員の確保】</p>	<p>①②○一日体験入学を午前・午後の2回、その一週間後に体験会に参加できなかった生徒・保護者を対象に説明会を実施した。体験入学参加者は生徒1,555人、保護者732人、説明会は生徒141人、保護者99人、合計2,527人と昨年度より140人強増加した。その後の学校説明会(含:直前相談会)への参加者も前年比20%強増加した。 ○志太・榛原地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、通学費補助の対象となる静岡・小笠地区では重点校を絞り募集活動を行い、小笠地区では志願者が昨年度より10%強増加した。また、学習塾への訪問を積極的に行った。 ○高校入試の合格者数は普通科が948人(単願182)、英教科が832人(単願110)、合計1,780人(単願292)となり、昨年度より単願で10名増加した。3/12現在入学予定者は329人。併願者の戻りを含めれば学則定員(360人)を越えることになる。 ③◇福岡・札幌入試は受験者は111人(昨年比10人減)であったが、単願合格者は5人(昨年比5人減)であった。学習特待生の入学を増やすための方策を検討する必要がある。</p>	<p>A 63.1% B 27.7% C 4.6% D 4.6%</p>	<p>①もっと多くの教員が中学校訪問をしたほうが良い。中学校訪問は教職員全員で当たるべき。 ②塾との連携がより必要になってくると感じる。 ③福岡・札幌入試の費用対効果を検証すべきではないか。 ④各校が生徒獲得のために各地に通学バスを走らせている。募集活動とともに生徒たちが通いやすく、身近に感じる学校にしていく必要がある。 ⑤担当の職員の努力は素晴らしいと思う。が、一人ひとりの職員が、もっと本気で明誠へ生徒を入学させようとする思いが必要だと感じる。 ⑥今行っている手法は10年以上前から首都圏の私立では行われており、やっ外部から来た先生方の力で導入されたという点が残念である。 ①進研模試の他校比較から本校英数科と掛川西がほぼ同レベルであることがわかった。このことから袋井や掛川東部の生徒も勧誘できると考えられる。 ②説明会や体験入学等の実施がとても効果があったと思う。中学校訪問では中学と本校の関係が密になったと思う。 ③2年連続の定員越えは渉外に携わる先生方の尽力の賜物であると思う。生徒数確保という点では素晴らしいと思う。先生方の努力が実を結んだと思われる。 ④学校説明会で多くの中学生・保護者と対話・案内をすることで、運営等に貢献できたと自己評価している。 ⑤地域だけでなく、県外からも生徒を集め、定員の確保に向け、動いていて良いと思う。 ⑥この2年、受験者数・入学者数が増加。渉外活動の成果である。大変だが地元の各中学校への訪問はとてもよい。また、学習塾への訪問も実施しており、ある程度の協力関係もできあがってきている。 ⑦前年同様定員を確保できたことから成果を上げたと言える。担当のみならず全校的な取り組みがよい結果に結びついたと思う。 ⑧中学校訪問は本校に対する世間や中学校の評価をダイレクトに知ることができるよい機会だった。学習塾まわりにも携わっていったらと思う。 ⑨1年生で何人かは「体験授業がおもしろかったので、この学校に決めた」と言っていたが、それを踏まえて楽しい体験授業を実施した。アンケート結果も良好で、目的は達成できたと思う。</p>	<p>A 87.5% B 12.5% C 0% D 0%</p>	<p>①教育と経営のバランスが大切であると思う。 ②明誠中学校に入学する生徒の質を上げて、大学入学実績をアピールすることで教育熱心な親は明誠を志向すると思う。 ③学内の規律や生活習慣についても強く訴えることも必要だと思う。 ④昨年、入学希望者と偶然話す機会があったが、その地区はスクールバスの運行地区だった。時刻表等を入学説明会等で示した方がよい。 ①体験会や説明会が多くの来校者を迎えることができ、充実していたと思う。 ②学校訪問などの努力が成果につながっていると思う。 ③焼津方面のスクールバスの効果も大きい。 ④募集に関する学校と先生方の努力がみうけられる。 ⑤本校への関心は高まっている。難関大学進学の実績や先生方の生徒一人ひとりに寄り添った手厚い指導の賜だと思う。 ⑥1日体験入学、入試直前説明会は今後も継続していただきたい。</p>

<p>V 教育施設・設備 の活用</p>	<p>安全で快適な教育環境の実現</p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する</p> <p>②施設・設備のより有効な活用を図るとともに、机・椅子の整備等、教育環境の整備に努める</p> <p>【平成30年度高2生徒分の机・椅子一新】</p> <p>③清掃状況を把握する巡視を行い、清掃指導の徹底を図る</p> <p>④破損箇所の把握と迅速な修繕を図る</p> <p>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</p> <p>⑤電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける</p> <p>⑥消灯、戸締まりの徹底を図る</p> <p>⑦地震発生時の避難や防災に関する訓練等を効果的に実施し、生徒の安全を確保する</p> <p>⑧原子力災害に対する避難計画を作成する</p> <p>【防災訓練年2回実施】</p>	<p>①○毎火曜日早朝に理事長点検を実施し、施設の安全を確保した。公共スペースに設置されている備品（机・椅子）を確認し、常に同じ状態で使用可能にした。</p> <p>②○机・椅子（高3生）を新しく入れ替えた。黒板・トイレのドア等、劣化が見られた箇所を修繕した。</p> <p>③○火曜朝の巡視点検の他、毎清掃時間、特に階段の点検を行い、清掃（指導）の徹底を図った。</p> <p>④○6月・7月・2月の定期点検により迅速な修繕を行うことができた。また、学校説明会、入学試験等の行事前に一定の環境を整えることができた。</p> <p>⑤◇消灯・空調のスイッチオフ等の節電や紙の節約を励行しているが、さらに徹底したい。</p> <p>⑥◇校舎施錠については部室やトレーニングルームの未施錠が多く、徹底が必要である。また、校舎1階への侵入防止のためにも、特に1階部分の施錠をさらに厳しくしたい。</p> <p>⑦○防災学習を防災訓練だけでなく、防災学習も実施できている。</p> <p>⑧◇原子力災害に対する避難計画は未作成である。</p>	<p>A 20.0%</p> <p>B 61.6%</p> <p>C 16.9%</p> <p>D 1.5%</p>	<p>①東館の電気が半分くらいしかつかなくて、とても暗い。</p> <p>②トイレをもっと綺麗にしたい。温水洗浄トイレの設置を考慮に入れていくことも必要かと思う。世界的に評判の良い「日本のトイレ」の基準から見るとまだ改善点が多い。</p> <p>③老朽化が進んでいる。私学なのに設備が自慢できないのは少しつらい。</p> <p>④毎週火曜日だからしっかりやるという考えになってはいないか。</p> <p>⑤黒板、チョークの質の悪さが気になる。また、公共スペースに緑を増やしたい。</p> <p>⑥生徒が放課後残って活動することが多いのはよいことだが、整理・整頓ができていないケースがあった。</p> <p>⑦「9時まで学習」の監督を3年間連続で行っているが、最終見回りをして、施錠が完璧だったことは数える程しかない。最終施錠があるからという安心感があるのでは。</p> <p>⑧寮の食事改善が一向に進んでいない。</p> <p>⑨施錠が甘くなる時もあった。なかなか徹底できないが、生徒任せにせず職員でも点検する必要がある。体育館・トレーニングルーム等の消灯・戸締まりの確認が、生徒の自主練習のあと不徹底であった。自主練習の生徒の有無の確認、自主練習後の見届けが必要だと思う。</p> <p>⑩体育館の雨漏り補修が必要である。校内の整理整頓（物品が多すぎたり、不要物の処分）を促進させたい。</p> <p>⑪機器等の不備もあり、視聴覚教室の充実を図りたい。ICT教育をおこなうための設備があれば、よりよい教育活動にむすびつけられる。</p> <p>⑫特別教室で鍵がかかりにくいところがある。全ての教室に対応したマスターキーがあると当番の先生は見回りがしやすくなると思う。</p> <p>⑬清掃活動が少し疎かになっているように感じる。</p> <p>①一つずつ破損箇所を修繕していただいているが、必要な箇所はまだ残っている。</p> <p>②老朽化は否めないが、着実に美化されている。モグラ叩きのような部分があるが、よく整った施設だと思う。</p> <p>③きめ細かく、行き届いたケアがされていると思う。掃除や整理がしっかりできている。</p> <p>④施錠管理は最後になる部活顧問できちんと行うべきであるが、清掃などの環境作りはとても良いと思う。</p> <p>⑤机・椅子の新規購入は非常にありがたかった。いずれ全体があたりしくなる。教育環境は改善されつつある。</p> <p>⑥総務課の先生方を中心として校内の美化・整備に尽力できたと思う。</p> <p>⑦教室・トイレは清潔に保たれたと思う。通常の清掃の取り組みはとても良好だった。</p> <p>⑧入試時期などに修繕箇所をすべて報告し、修繕できるものは対応していただいた。</p> <p>⑨避難訓練は生徒がみなまじめに取り組んでいて、さすが静岡県だと感じた。</p> <p>⑩震災を福島で体験し、原発事故の恐怖も味わった者としても、原子力災害に対する避難マニュアルの作成は急いだ方がいいと思う。</p>	<p>A 25.0%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>①細かな点で改善を要することもあるが、一つひとつに解決し、安全でさらに快適な環境作りをお願いしたい。</p> <p>②教育環境の改善にこれからも努力をお願いしたい。</p> <p>③長期的な設備改善計画スケジュールの策定がなされていると思うが、施設費（冷暖房費+α）として別途徴収するタイミングにきているように思う。</p> <p>④老朽化している部分の修繕をしていただきたい。また、段差のある場所の改善を検討していただきたい。</p> <p>⑤防災訓練は継続していただき、危機管理意識を培わせていただきたい。</p> <p>⑥施錠は先生・生徒ともに厳しく徹底することが必要である。</p> <p>⑦防災教育には訓練が大切だが、時には防災局の方の話を聞くのは、どうか。何か新しい訓練方法があるかもしれない。</p> <p>⑧体育館北側の出入り口付近の電灯の設置状況の確認をお願いしたい。</p> <p>⑨平成30年1月27日静岡新聞に「全県立高校に無線LAN」の見出しで兼教育委員会のICT機器設置推進の記事が掲載された。今後、どのように対応していくかを検討していただきたい。</p> <p>①学校へ伺うたび、清掃の行きとどいた環境に感心する。</p> <p>②引き続き施設内修繕を進めていただきたい。</p>
------------------------------	----------------------	--	---	---	--	--	--